

子どもを守るために

知っていますか？



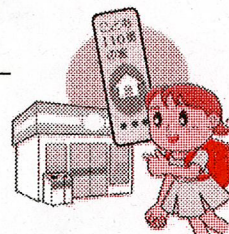
～子どもたちを狙う手口の例～

- ★ お菓子やゲームを買ってあげるから一緒に来ない？
- ★ ○○まで行きたいんだけど、一緒に車に乗って案内してくれる？
- ★ 向こうに怪我をしている人がいるから、ちょっと一緒に来て。
- ★ 君のお父さんが事故に遭ったから病院まで連れて行ってあげる。
- ★ モデルにならない？写真撮らせて。

…など、言葉巧みに声をかけてきます。

～私たち大人が心がけたいポイント～

- ★ 登下校時の防犯パトロールはとても有効です。
 - ・不審者や不審車両はいないか？
 - ・一人で遊んでいる子はいないか？
 - ・散歩などの日常生活を子どもの登下校時に合わせてみるのも一つの手です。
- ★ 万一の時に大声を出したり防犯ブザーを鳴らせるように、日頃から練習させましょう。
- ★ 子ども目線に立って、「何度もわかりやすく」繰り返し防犯対策を指導しましょう。
- ★ 子どもに複数の「子ども110番の家」の場所を教えましょう。



子ども防犯教室で指導している被害に遭わないためのキーワードです！
声かけ手口の例と一緒に指導したいですね。



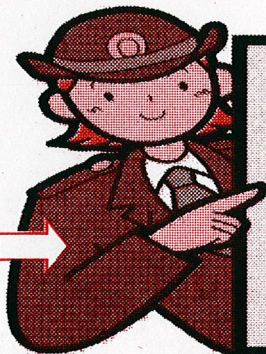
～子どもたちに指導したいポイント～

- ★ 知らない人についていかない！
- ★ 知らない人の車にのらない！
- ★ 「助けて！」とおおごえを出す！
- ★ 大人がいる所にすぐにげる！
- ★ どんな人が何をしたか、大人にしらせる！



～子ども女性安全対策室～

子ども女性安全対策室では、子どもや女性を対象とした性犯罪等の未然防止を図るため、このような活動をしています！



- 性犯罪等の前兆事案（声かけ等）に関する情報の収集、分析
- 声かけ等の**行為者**を特定し、早急に**検挙**や**指導・警告**措置を講じる
- 関係機関と連携した防犯活動を積極的に実施

